

令和6年第5回田原市教育委員会定例会

- 1 開会 令和6年5月21日 午後1時30分
- 2 閉会 令和6年5月21日 午後2時20分
- 3 会議に出席した委員
伊藤正徳教育長、田中早苗教育長職務代理者、太田孝雄、金田真也委員
高崎佐智江委員
- 4 会議に欠席した委員
- 5 会議に出席した職員
教育部長 増田直道
教育総務課長 川口 崇
学校教育課長 峠 尚良
生涯学習課長 山田達也
スポーツ課長 鈴木雅也
文化財課長 天野敏規
図書館長 是住久美子
教育総務課長補佐兼係長 木村真一

議事日程

別紙のとおり

田原市教育委員会第5回定例会議事日程

日 時 令和6年5月21日（火）

午後1時30分

場 所 北庁舎3階 302会議室

1 会議録署名者の指名

2 教育長報告事項

3 報告事項

（1）教育委員連絡報告事項

（2）堂浦小学校屋内運動場改築工事請負契約の変更について

（3）中央図書館等空調設備及び照明器具（LED化）改修工事請負契約の変更について

（4）小中学校への寄附について

4 その他

教育長

開 会 午後 1 時30分

本日は、何かとご多用のところ委員さんにはご出席いただきありがとうございます。

ただいまの出席者は、自分も含め 5 名となります。定足数に達しておりますので、令和 6 年田原市教育委員会第 5 回定例会は成立をいたしました。

これより開会をいたします。

教育長

まず、会議規則第13条第 2 項の規定により、会議録署名者の指名をさせていただきますと思います。今回の署名者として、太田委員と高崎委員のご両名を指名させていただきますのでよろしくお願いいたします。

教育長

それでは、議題に先立ちまして教育長報告を私からさせていただきますので、資料の 1 ページをお開きください。よろしいでしょうか。

前回の第 4 回定例会の後、これだけのものに出席をさせていただきました。

まず初めに、委員の皆さんには運動会、それから体育大会へのご参加本当にありがとうございます。

先週の土曜日13校を最多として、ここまでに17校の運動会、体育大会が終了いたしました。自分も童浦小学校を含め 4 校を回らせていただきました。コロナが落ち着いたということで、それぞれ競技も接触の部分が非常に多く、大変見栄えのあるそういうような運動会であったと思います。

また、最近は特に春でも熱中症が心配されるわけです。特に土曜日は非常に良い天気で、こちらが出る前は心配をしていたのですが、各学校で子どものところにはきちんとテントを張り、それから給水時間もきちんと取りという、それぞれ工夫をして対策をしていました。昔のように、お昼をはさんで 1 日というところは、1 校南部小がスポーツフェスティバルという形でやるわけですが、それ以外はほとんどなくなって、午前中のみ開催となりますが、それぞれ小さいところは小さいところなりに、大きいところは大きいところなりに子どもたちがいい姿を見せられるよう競技も工夫されていて、来られた保護者、それから平日開催のところもあったのですけれども、地域の方々もたいへん多く詰めかけて、特に小学校は学校は地域の核だなというのを改めて感じさせる、そのような運動会になっていたと思います。よろしくお願いします。

それではそのほかのものについてですが、抜粋となりますが 4 月 25 日、それから 5 月 9 日にそれぞれ東海北陸と全国の教育長会議

というのがありました。東海北陸は刈谷市で、そして全国は少し遠く長崎県で行われたわけですが、そこで東海、全国それぞれの教育長が今抱える問題というのを話し合いました。結局出されるのは、本市も同じような問題を抱えているわけですが、1つは子どもの数が減ることによる学校の統廃合、それからコミュニティスクール、そして教員数の確保の問題、さらにはあと1つありますが話しながら思い出しますね。

その中で、まず教員数の確保の問題について、実は今回、教員採用試験の第一次試験の会場に本市の東部中学校が入っていて、うちもどれだけ来るのかなと心配はしつつ、やはり田原もそういう会場として使っていただけるのだと、ちょっと期待もしていたのですが、つい昨日電話が入りまして、教員の募集数が想定したものよりも少なかったということで、東部中学校はキャンセルをさせていただきたいということになりました。どのぐらいのものが集まったのか、まだ公表はされていませんけれども、ちょっと心配なところがあるなど、やはり教員が足りないのはうちだけではありません。特に、大きなところ、豊橋市、さらに西三の岡崎であるとか、豊田であるとか、さらに名古屋に行けばもっと多くの学校で欠員状況が生まれている。だから教員は喉から手が出るほど欲しいのはどこも一緒です。そういうわけで何とか教員になりたい、教員にあこがれる、そういうような子どもたちをこちらで育てていきたいなど、そういうことは校長会でも、それから教頭会でも話をしました。

それからコミュニティスクールに関しては、うちもだいぶそれについては進んでいるわけですが、全国、東海ともにやはりそういうのに意欲的に取り組んでいる。これは文部科学省の後押しもあるわけですが、その動きはありました。ただ、やはり難しいことは、形は整うのだけれども、実際、本当にコミュニティスクールとして機能をするかというのは、これはなかなか各校も頭を痛めているところでして、やはり形をまず整えて、そこから順番に完成形に持っていこうというのが、それがそれぞれの教育長の意見でした。

それから、思い出しました。部活動の地域移行も幾つかのところの問題となっておりました。うちも学校教育の指導主事を中心に、これについては来年度からの実施になりますので、スポーツ協会であるとか、文化協会、今実際には、それぞれの中学校では、一般の地域の方が野球だとか、ソフトボールであるとか、バレーボールであるとか、卓球であるとか、剣道であるとか、かなりの方が入り込んでおりますので、そのような方を上手に使って、それは進めていこうという形でやっっていこうかと思っております。まだ完成形というか、発表できるところではないですので、これはお知らせという形でとどめたいと思

います。よろしくお願いします。

それから、元に戻って5月1日に田原市内の3高校の合同学校説明会が田原文化会館でありました。これは、市教委のものとは若干変わるのですが、市内3校がはっきり言って3校とも今定員割れをしている状況です。特に成章高校に至っては1クラス40人空くという、なかなか今までにない空き方をしました。そういうことで、3校の校長、そして先生が非常に危機感をもって、うちの学校はこういう学校で、こういういいところがあって、こういうことが学校内でできるんだよという、そういうのを説明する会を早く持ちたいということで企画されました。

自分は、ちょっと出向くことができなかったのですが、学校教育課長と指導主事がここに出かけて、300人を超えるぐらいのたくさんの人を集めて盛況であったということです。今後の志願者数、報告会は大きくは2回あるわけですが、またそれを注視していきたいなど、そういうふうに考えております。

それから5月14日に校長会議の2回目がありました。ここでは何を自分は言ったかということ、1か月ちょっとたって学校の様子はどうなのかということを経験としてよく確かめるようにというのと、それから、子どももそうですけれどもゴールデンウィークを開けると、子どもも疲れるのだけれども、先生も疲れてくるということで、体調管理には十分気をつけるように、特に自分としてはやはり、先生が子どもの前から病休だとか休職で消えるというのは、やはり最悪の事態だから、そういうのを校長としては事前に察知をし、そして4役でカバーし合って支えるように、そのようなことを申しました。

あわせて自分と学校教育課長からは、やはり多くはないですが、スピード違反であるとか、一旦停止違反であるとか、そういうのはちょくちょくと報告は受けております。そこでまだ止まってくれば、基本的には大ごとにはならないですけど、それを始まりとして、やはり人身が絡むとどうしても市だけの注意では何ともならなくて、やはり県に上げて処分を依頼しなければならないという事態になりますので、十分校長には注意するよう促しております。

5月16日を見ていただくとありがたいですが、東三河の教科用図書の採択地区協議会というのがいよいよ始まりました。要するに、教科書を選ぶ、どの会社の教科書を使うのかという、そういうことを決める会議です。十分先生たちを動員して、研究をし、そしてさらにその上、校長だとか、自分たち教育長も入ってさらにそれを吟味し、というそういう形で進めます。最終的には、ここの定例会に持ってきて皆さんにこれでどうでしょうかというお伺いを立てますので、またよろしくお願いします。

太田委員

最後になりますが、5月20日から教育実習が開始されております。今年、自分が受けている報告では、小学校9名、それから中学校11名の実習生が来ているということです。このような子たち、まずこの子たちは間違いなく田原でしょうから、この子たちがやがて教員採用試験を受け、合格をし、うちに戻ってくれたらいいな、そういうふうに願いをかけておりますので、よろしくお願いします。

以上私からの報告でしたけれども、何か聞いておきたいということがありましたらお願いいたします。

1点お願いします。

教育長

先ほどご説明いただいた5月1日の田原市内3校区の合同学校説明会ですが、これは平日だと思うのですが、対象者は生徒、保護者ですか。どういう形で行われたのですか。

太田委員

この日は、田原市教職員会の総会で早帰りをしておりますので、それで2年生と3年生を基本として、保護者はもちろん、1年生から3年生を対象にしています。

教育長

対象者に対して、高校にPRのようなことを行ってもらったのですか。

太田委員

対象者は、PRを聞いたということです。

教育長

これは初めて行ったということですか。

各校別々で体験入学とか、学校に呼んで説明をしていたのですが、やはりそこには私学等も入ってくるものですから、その前に落ち着いて自分たちの良さを伝えていこうということで、この3つの高校が集まってこうやってやるというのは初めてです。

太田委員

ありがとうございました。

教育長

よろしいでしょうか。

それでは、ご質問もないようです。もしあったら、全てが終わった後、お聞きいただければありがたいです。

教育長

それでは、続いて報告事項に入りたいと思います。

初めに、教育委員の皆さんの連絡報告事項をお伺いしたいと思います。それでは、まず田中委員からよろしくお願いいたします。

田中委員

それでは3件報告いたします。

4月20日に第3回渥美半島ウルトラネイチャーランがあり、応援には行きませんでした。第1回から3回目も参加された方から感想を聞きました。今回は天候もよく、名前のとおり自然を感じるエイドが充実していて、おいしくてついつい食べ過ぎてしまったそうです。他県からの参加者の方も満足しすぎる様子だったそうです。

私も一市民として、交通規制がなく、市民の負担が少ないことや海や山という渥美半島自慢のマイナスイオンスポットを巡っていただけ

て、とてもいいなと思います。ぜひぜひ4回目も開催してほしいなと思います。

2件目に5月16日、第1回東三河教科用図書採択地区協議会に参加しましたが、この内容を秘密にしておくのがよく分からないので、以上です。

3件目になります。5月18日に校区の運動会を見に行ってきました。亀山、中山、清田、福江の4校を回り、それぞれの規模や校風に合った工夫がされているなと感じました。児童数の少ない学校は、入退場門を設置せず、テントから直接入場したり、効率をよくした教員の負担も少なくするような配慮がされておりました。また、地域の力も借りて、盛大に行っておりました。

亀山小学校では、部活動がなくなったということで、ファンファーレをする児童がいなくて、それではさみしいということで、中学生にお願いしたそうです。PTAや自治会、消防団などの種目もあり、まさに校区の運動会という感じでした。

清田小は、トリの種目であった通学団リレーに代わり、全児童でのリレーになっていました。

また、各校PTAでおなじみのそろいのTシャツをつくっていたと思うのですが、清田小は前年度から廃止し、代わりに腕章をつけていました。

中山小では、PTA種目はないですが、PTAは準備と片付けを行い、縁の下の方持ちという感じでした。

カメラ係の教員もいましたが、校長先生も自らカメラを構え、全教員支え合っている様子が伺えました。

1日行程の福江小ですが、障害物リレーでは、各チームに児童、教員、消防団などが分けられ、校長先生がぐるぐるバットで頑張っておられたのが印象的でした。

以上です。

ありがとうございます。

では、金田委員よろしくお願いします。

自分は、2点ございます。

まず、運動会ですけれども、4月9日の日に田原中学校の体育祭に行っていました。体育祭といたら100メートルとか幅跳びなどの記録会と思ったのですが、全然違って、障害物リレー、タイヤとりリレー、スウェーデンリレー、選抜リレー、4、5人で行うクラス対抗戦ということで、オリエンテーリングの要素が強いのかなとそんなふうに感じました。競技が後半に進むにつれてどんどん盛り上がってくるのが感じました。クラスがこれで早い段階で、1つにまとまるいいきっかけになるのではないかなとそんなふうに感じました。

4月18日は、前半東部小学校に行っていました。1、2年生の

教育長

金田委員

デカパンリレー、3、4年生の短距離走、全校応援合戦などありました。開会式のときに多分、地域の人が飼っている伝書鳩を2、30羽ばつと放して舞って、あれはすごく見応えがあったなとそんなふうに思いました。

後半は、大草小学校に行ってきた、全校生徒で行う綱引きだとか、縦割り班で行うリレーを見させていただきました。一番印象に残ったのは、4、5、6年生で行う令和の鈴割りでした。鈴割りプラス棒取りを同時進行していて、鈴を割ればそちらのチームに7点、長い棒が2点、短い棒が1点、鈴を割ればいいというだけのものではないというのがミソなのかなとそんなふうに感じました。鈴が割れたのが白のほうが早かったのですけれども、赤のほうが早く球を引っ張って、でも鈴の調子が悪くて割れなくて、それで先生方が審議をして、先に鈴が割れたのは白だったのだけれど、赤のほうが勝ちという判定を、軍配を上げたことに関しては公平なのかなとそんなふうに感じました。

大草と言えば相撲ですけど、運動会とは引き離して6月4日に春場所を開いて、秋に秋場所を開く、そんな言い方をしていました。

また、3学校全てにおいて男女混合でリレーだとか、徒競走とかをやっていました。鈴割りも女の子が鈴を割に行っていました。

次に5月20日の日は、男女共同参画推進懇話会に出席させていただきました。会議の内容としては、市の取組として、男女共同参画推進事業についてだとか、女性登用率の向上について話し合いました。

また、8月にフェスティバルというのが行われるので、それについても話し合いをしました。報告事項については、運動会のことを報告させていただきました。

学校現場を見て、この男女共同参画という会議に出席すると、男女に関することじゃなくて、人権について自分たちが住む社会よりも学校現場のほうがはるかに進んでいるなというのを感じさせていただきました。学校を卒業した子どもたちからこの世の中が変わってくるんじゃないかなという期待もあります。また、教育の重要性を身に染みて感じさせていただきました。

自分からは以上です。

ありがとうございました。

では、太田委員よろしくお願ひします。

よろしくお願ひします。

私は、この期間に5校の体育祭、運動会に参加させていただきました。先ほど、教育長先生のほうからお話もありましたが、ここ数年で運動会の様相が大きく変わってきております。コロナの問題があったり、熱中症、それから教員の働き方改革であったり、児童生徒数の減少、こういったものが行事につながっているのではないかなと思います。多くが春実施になりましたし、規模のほうも縮小というような

教育長

太田委員

形でなっているかと思います。

私は、こういった状況の中で子どもたちがどんなふうに活動しているかということ、それから保護者、地域がどんなふうにつながりを持っているかということ、それから演技種目はどうであるか、こんなような3つの観点でそれぞれ訪問させていただきました。

最初に4月26日に赤羽根中学校の体育祭に参加いたしました。4月の下旬とはいえ、まだまだ年度が立ち上がったばかりですので、どんなふうに行われるかなという大変興味をもって行ってきました。赤羽根中学校は今年、研究指定の発表ということで、この早い時期に生徒の仲間づくり、居場所づくり等、それを主体とした体育祭であったように思います。仲間を意識して楽しむ、安全に行うというようなことを校長先生のお話の中でされておりました。午後にも種目はあったわけですが、午後の種目についても、生徒会が考えた種目ということで形としては1日日程ですが、午後の早いうちに終了したというように思います。保護者の参加はありましたけれども、来賓はありませんで、地域とはつながりを持っていなかったように思います。子どもたちは大変楽しく演技をしておりました。

それから、5月17日に伊良湖岬小学校の運動会、1日雨で延びて、翌日晴天でしたけれども大変強風の中で行われました。岬小学校は、高学年を中心に今、縦割り班の活動が多く組まれ、これも仲間づくりというか、子どもたちの主体的な活動も含めて運動会の中で培っているというように思います。主に、今まであった音楽で踊ったり、動いたりというそういうようなダンス的なものはやめて、あとはほとんど今までどおりの種目、地域のものを学校の中だけの運動会でありました。

それから5月18日は、旧赤羽根町の3校の運動会に参加させていただきました。

若戸小学校につきましては、特に比較的印象的だったのは、校区がかなり結びつきが強く、校区の親睦が入ったり、運動場も大変ほかに比べると狭いですが、観客の方もたくさん見えて、大変盛り上がりのある運動会だったように思います。

それから、その次に高松小学校に行きました。高松小学校も校区合同の形を取っておりましたが、特に高松小学校で印象的だったのは、ほかの学校は紅白対抗の応援合戦等を行うのですが、高松は「盛り上がれ高松ダンスホール」ということで、紅白で音楽に合わせてその盛り上がり进行评估するというので、ちょっと工夫して今ふうの子どもたちも大変楽しく、しかも先生方それから保護者、地域の方もそれに巻き込んでやっているということで、大変いいアイデアだということを思いました。

それから、赤羽根小学校は、ほとんど地域の種目はなかったのです

が、一番最後に、旧赤羽根町の赤羽根音頭というのを伝統的にずっと続けてやっているということがこの学校の特徴だったというように思います。全体としては、運動会自体が今までの、どちらかというに見せる演技が多かったのですが、楽しむ演技、それから子どもたちが主体的に活動するような、そういうところに力を置いているように思いました。

テントで来賓の方とお話しする機会があって、我々かなり年を重ねてきて、昔はどうのこうのという話になって、やはり運動会というと、保護者と昼食を取ったりとか、それから私たちの行った学校は鈴割りもなかったものですから、鈴割りがないだとか、それから地域の方も年寄りまでみんな参加してきたけど、そういう風景もかなり少なくなってきたねと、そういうさみしさもぼそっと言っている方もありました。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

では、高崎委員お願いします。

高崎委員

失礼します。私は、2つお話しをさせてください。運動会は、28日中部小学校にお伺させていただきます。

まず、1つ目、現在、私の勤務先で田原中学校の職場体験の学生さんを2人お預かりしております。本日から明後日までということで、私も経験を積ませていただいたおかげもあり、本日午前中、少し生徒さんと労働の後お話しをさせていただきました。その中で、まず聞いたのが、授業は楽しい？という話です。それぞれのお話をされていらっしやいました。私が生徒さんにお伝えしたのは、どちらもいいと思うという話なのです。どちらもいいと思う。最終的に勤務のことから世の中の仕組み、みんながなぜ生活できるのか。そして、どういう仕組みでこうなっているのかという、例えばいろいろな方法で収入を得る方法があるよね。中学生にとりまして、皆さんそれぞれのご家庭での生活が全てだという今の認識だと思います。そして、あるお子さんが、ボランティアを一所懸命やっという話を伺って、とてもすばらしいと思いました。中学の残念ながらボランティアをやめてしまった理由もお伺いさせていただいたのですが、そういった関係からお子さんの目をもっともっと開花していただきたいなという希望をいただきました。最終的に、また何か一緒にできることがあったら伝えてということで終わったのですが、そのお子さんたちとの話の中で、以前伺いました公立の中学とは違いますが、愛教大のお子さんたちが板書教育をなさらずに、自らの意思で行動されるという教育、これは現在田原市の中では難しいとは思いますが、でも、本当にお子さんたちが楽しいという経験を積んでいただけたらなという思いでいっぱいになりました。

教育長

そして2番目です。間接的にですが、福江高校の話を伺いまして、外部から入学される方が多いという、外部、他市から入学される方が多いという話もたくさん伺いまして、そう考えたときに、もしかしたらこのSNSの時代なので、魅力ある教育をされたら田原市まだまだこれから行ける、活性化できるのではないかという期待を少し持たせていただきました。

あと、最後になります。私が個人的ですけども、今年ある節目を迎えまして、出身高校の総会に先日行ってまいりました。ちょうど退職される方が多い年代ですけども、田原市の先生を退職された方と間接的に仲がいいよという方もいらっしゃったり、そんな中で人とのつながりの大切さをとても感じました。変わらない普遍性と変わっていく時代の私たちは隙間を生きていると思います。そして、改めてこの教育委員を2期目をさせていただくことにより、自分に何ができるかということを問いたいなと改めて実感いたしました。

以上です。

ありがとうございました。

それでは、今伺った運動会等のことについては、自分が今校長と面談をしておりますので、そのよかったところは伝えておきたいと思います。

教育総務課長

それでは次に、報告事項（2）童浦小学校屋内運動場改築工事請負契約の変更について、事務局から報告をお願いいたします。

それでは、資料の3ページをご覧ください。報告事項の2番目として、童浦小学校屋内運動場改築工事請負契約の変更についてご報告いたします。

この工事につきましては、議会の議決を経て令和5年度に契約をしたものになります。今回、契約内容に変更が生じたため、契約を変更するものになります。なお、変更金額が契約金額の5%または、1,000万円以内という一つの基準でその範囲内でございましたので、こちらの資料に記載してありますが、地方自治法の第180条第1校の規定によりまして、市長専決により契約を変更し、同条第2項の規定により6月の議会で報告をする予定でございます。

内容についてご説明申し上げますので、次のページをご覧ください。

専決処分内容という表をご覧ください。この工事につきましては、専決処分年月日、これは令和6年5月10日、専決事項につきましては、童浦小学校屋内運動場改築工事請負契約の締結で、契約金額の変更になります。契約の相手方は、当初と同じく、田原市田原町晩田63番地1の株式会社菰田建設、変更前の契約金額は3億7,290万円、変更後の契約金額は3億8,269万6,000円ということで、変更額のほうは979万6,000円というようになっております。

変更の理由ですけども、外溝の雨水計画の見直しによる所要の変

教育長

更と、室内の床面の水平制度を高くするため、施工方法の変更等を行うものということでございます。

こういった内容によりまして、変更契約を締結しまして、議会に報告してまいりたいと思います。

報告は以上になります。

それでは、ただいまの事務局の報告について、何かご質問等があったらお願いいたします。

よろしいでしょうか。

では、ご質問もないようですので、次に進めさせていただきます。

図書館長

次に（３）中央図書館等空調設備及び照明器具（ＬＥＤ化）改修工事請負契約の変更について事務局から説明をお願いいたします。

図書館から失礼いたします。

こちらの報告につきましても、先ほどの教育総務課の童浦小学校の工事と同様に令和５年度に工事の契約を行いまして、令和５年、令和６年にかけて工事を実施しているものになります。同様に地方自治法の規定によりまして、改修工事請負契約の変更について専決処分をしましたので、同条第２項の規定により報告するものとなります。

内容について次の６ページをご覧ください。

専決処分年月日は、令和６年５月１５日です。専決事項は、中央図書館等空調設備及び照明器具（ＬＥＤ化）改修工事変項請負契約の締結ということで、契約金額の変更となります。

契約の相手方は、株式会社天野ポンプです。変更前の契約金額は３億９,０７２万円です。変更後の契約金額は３億９,３５７万４,５００円ということで、２８５万４,５００円増額して変更の契約を行います。

変更理由ですけれども、屋外機置き場の配置変更及び既設器具の状況及び器具の再設定による変更を行うためとなっております。

以上です。

教育長

ありがとうございました。

では、ただいまの事務局の報告について、何か質問等があったらお願いをいたします。

よろしいですか。

では、ご質問もないようですので、次に進めます。

教育総務課長

次に、報告事項（４）小中学校への寄附について、事務局から説明をお願いします。

それでは、資料の７ページ目をご覧くださいと思います。

小中学校へ本日までに３件のご寄附をいただきましたので、ご報告をさせていただきます。

１件目ですけれども、４月１日に医療法人の岡田クリニックさんから泉小学校に校内環境の充実のためということで、高級レザースリッパ１００足組をいただいております。

教育長

2件目は、4月17日に恒川満男さんから赤羽根中学校にスポーツ教育振興のためということで卓球台1台をいただいております。

3件目につきましては4月30日に匿名希望ということでございますが、亀山小学校に教育環境の充実のためということで300万円のご寄附をいただいております。

1件目の高級レザースリッパと2件目の卓球台につきましては、次のページ以降に写真をつけてございますので、ご覧いただきたいと思います。次のページとその次のページですね。

3件目の亀山小学校の教育環境の充実のためのご寄附の活用につきましては学校の希望を聞いた上で、今後活用するための予算を考えていきたいと考えております。以上です。

ありがとうございました。

それでは、ただいまの事務局の報告につき、何かご質問等あったら願いいたします。

よろしいですか。

では、ご質問もないようですので、以上で報告事項を終わります。

教育長

教育総務課長

次に、その他ですけれども、事務局から何かございますか。

それでは、資料のほうの10ページ目をご覧ください。教育委員出席日程案についてという資料をご覧ください。

本日5月21日以降のスケジュールをつけさせていただきました。

6月12日に教育委員会定例会を予定しております。会場は本日のこの会場と同じ302会議室で13時30分から行う予定としております。

その次、少し飛びますけど7月19日の教育委員会定例会につきましてもこの会議室で13時30分から行う予定でございますので、よろしく願いいたします。

少し戻りまして、7月3日と7月12日ですが、こちらの2つの会議につきまして、まだ正式な通知は届いておりませんが、7月3日のほうは、愛知県市町村教育委員会連合会総会研修会としまして、刈谷市の総合文化センターで行う予定となっております。

また、7月12日につきましては、三遠南信教育サミット in 蒲郡市ということで、会場を蒲郡市クラシックホテルで開催される予定で、この行事終了後に交流会も合わせて行われるということになっております。この2つの会につきましては、本日の定例会の終了後に委員さんのご出席につきまして、ご相談をさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

その下の表ですが、教育関係イベント等ということで、表に記載のとおりでございますので、よろしく願いいたします。

教育長

スポーツ課長

ほかはよろしいですか。

すみません、スポーツ課です。よろしく願いいたします。

教育長
教育総務課長

お手元のほうに第19回田原市陸上競技選手権大会のまだ校正をしている最中ですが、今現在のプログラムを提示させていただきました。今年度から田原市と田原市スポーツ協会の主催による陸上競技選手権大会を5月25日土曜日に実施いたします。よろしくお願いいたします。

現在、小学校から高校、一般含めて約350名の参加者がございます。たまたま野球の少年野球の試合も重なったこともありまして、予定より100人ぐらい少ないかなと思っておりますが、400人を超える大会にこれからもなっていくと思います。よろしくお願いいたします。

今回の大会の特徴といたしましては、小学校、中学校に関しましては、クラブチームの申し込みも可能となっておりますので、小学校単位で申し込んでくるところもございますが、いろいろな申し込み要素が入っておりますので、よろしくお願いいたします。

以上となります。

そのほかありますか。

よろしいですか。

別で資料をつけさせていただいておりますが、教育総務課からでございますが、小中学校入学応援金の支給状況ということで、資料をお配りしております。

こちら本年度からの新規事業でございます。目的としまして小学校、中学校への新入学時において多額の費用がかかりますので、子育て世代の負担軽減と教育の一層の充実を図るために、新入学時に入学応援金を支給するものでございます。

事業の概要としましては、支給対象者として、田原市内に在住し、毎年4月に小学校1年生と中学校1年生として新たに小中学校に入学する児童生徒の保護者の方へ支給するものになります。こちらには、市外の学校へ通う児童生徒さんも含まれます。

また、5月までに新たに田原市に転入して、その日までに小学生1年生及び中学生1年生として入学する児童生徒の方のそちらの保護者さんも含まれるというような支給対象になっております。支給金額につきましては、1人当たり5万円ということになっております。

この事務の経緯ですけれども、市内の小中学校に通学する児童さん、生徒さんについては、入学式の日に通学する児童さんの保護者の方へ申請書を配布しまして、こちらを保護者さんから学校を通じて提出をいただいております。

また、市外の小中学校に通学する児童生徒さんにつきましては、保護者の方へ郵送で申請書をお送りしまして、また郵送で出していただいているということです。

対象児童生徒数につきましては、小学生が451人、中学校1年生が557人の合計1,008人ということです。支給状況は、こちらの表のとおりでございますが、対象者に対しましてまず、申請書を受け付けまして、

	第1回目の振り込みとして、小学生は421人の93.3%の支給率、中学生は535人の振り込みで96.1%の振り込みを第1回目で行いまして、第2回目を5月23日を予定しておりますが、ここで今、振込をもう既に準備を終わらせていまして、第2回目を経て合計451人が小学生、中学校1年生が557人ということで支給率100%の見込みとなっております。 支給額につきましては、6番目にありますが小学校1年生は、451人掛ける5万円の2,255万円、中学校1年生は557人掛ける5万円の2,785万円の合計5,040万円ということで、こちらは支給完了という見込みになっておりますので、本日も報告させていただきました。 以上でございます。 ありがとうございます。 では、そのほかよろしいですか。 文化財課です。 お手元に研究紀要の第13号と田原の文化第47号合併の冊子を配らせていただきました。令和5年度予算で作成して、ようやく配布できるようになったものでありますので、お手に取って内容等を確認していただければと思います。 以上です。 そのほかよろしいでしょうか。 すみません、1つ伺ってよろしいでしょうか。 先ほどの陸上競技大会の件ですが、小学校は今年から大きく変わって、学校としては部活動がないものですから参加していなかったと思うのですが、この各種目、個人種目について、学校名が書いてあるのは、これは個人で申し込んだという。 そうですね、基本的には個人、学校で地域の保護者さんが見てくれているところだったら学校単位にもなりますし、ほかにもJAC渥美とか、田原陸上クラブという形のクラブの申し込みがありますので、いろいろ小学校名は小学校の所属だという形です。 分かりました。 学校としては、練習はできないものですからね。 そうですね、練習は自分ら、地域の人が教えているような形にはなると思いますので。 それで学校名で出ていると。 はいそうです。 分かりました。 よろしいですか。 そのほかどうでしょう。 ないようですので、委員の皆さんからそのほか何かございましたらお願いします。 田原中学校に行ったときに、学校教育課の地域学校協働活動推進委
教育長	
文化財課長	
教育長	
太田委員	
スポーツ課長	
太田委員	
スポーツ課長	
委員	
スポーツ課長	
太田委員	
教育長	
金田委員	

学校教育課長

員という方にお会いしました。どんなお仕事をされているかちょっと教えてください。

金田委員

地域学校協働活動の推進につきましては、地域学校協働本部の活動を学校との連絡調整を主に行って、その活動の中心となる。実際に活動するだけでなく、いろいろな手配や連絡や依頼をしたりとか、そうした計画立案も含めて行っています。

学校教育課長

その方は、田原中学校専属でいるのですか。

4中学校に1人ずついます。それから、統括的な役割を担う方として現在、田原中学校にもう1名います。その方は、田原中学校に配置されていますけれども、いろいろな学校との連絡調整を行う形でやっております。特に今回4中学校に置いたのは、部活動の地域移行等で、地域への働きかけ等もしていただくような役割を担っていただくということも含めて、4中学校に置いています。

金田委員

なるほど。コミュニティスクールとか、そういったことにもかかわるのですか。

学校教育課長

そうです。学校運営協議会制度、コミュニティスクールなんですけれども、実際にはもう1つ、地域学校協働活動と、一体的に推進するとかがあるものですから、それで行って今年から全中学校に1人ずつ、プラス1名で5名を中学校区に配置をしております。

金田委員

普段先生がそういったことをやっていたのだけれども、やり切れなかった状況があつてですかね

学校教育課長

今までは特に教頭先生が中心となって地域に依頼したり、地域からの要望を聞いたりというところをやっていたことを、PTAに近くなってしまうのですが、PTAとはまた別で、地域の方ですけども、なかなか教頭先生がというのはなかなか大変ですし、それから、特に地域学校協働活動というのが、地域が主体となって行うということでございますので、そういった意味も含めて推進をお願いしております。

金田委員

ありがとうございます。

学校教育課長

難しかったり、いろいろなケースが、学校ごとにまたこういうやり方でなければ駄目だというのではなくて、いろいろなやり方があるものですから、それぞれの校区に応じてやってくださっていると思っています。

金田委員

はい、分かりました。

教育長

ありがとうございます。

そのほかございますか。

ないようですので、以上で本日の議事は全て終了をいたしました。

これをもちまして、田原市教育委員会第5回定例会を閉会とさせていただきます。ありがとうございました。

閉 会 午後2時20分

教育長

委員

委員